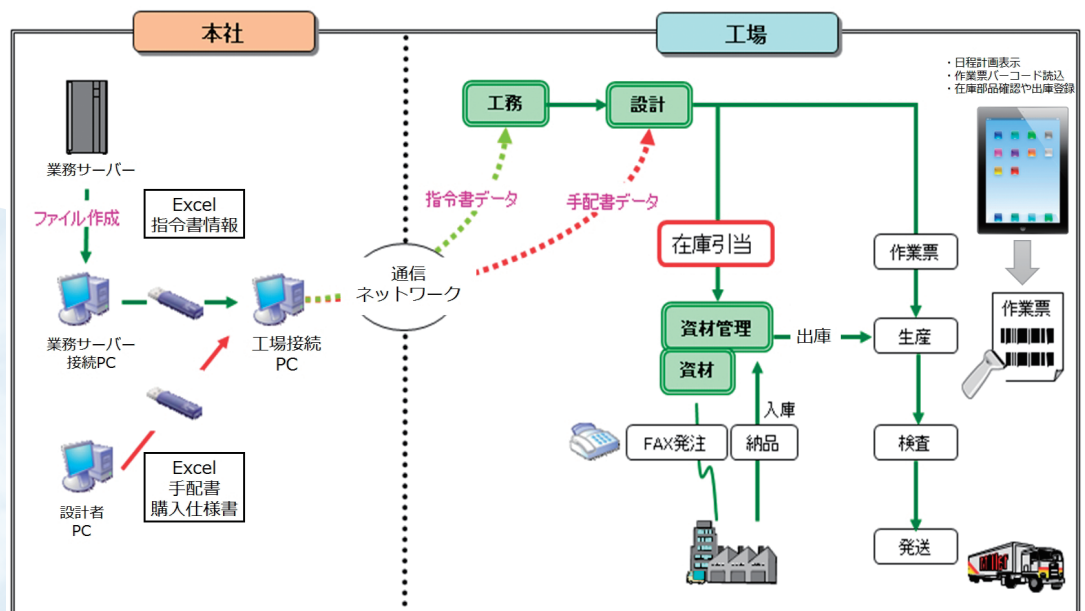




個別受注製造業の事業者様に合わせて開発された  
原価計算・生産管理システム

# 個別原価・生産管理 システム

Job-Order Costing and Production Management System



## システム導入のメリット

### 原価管理

部品や材料の単価を把握することで、より正確な原価を把握

### 進捗管理

受注した工番情報(納期)をカレンダーに表示し、日程計画の作成や進捗状況を容易に確認  
発注部品の納期や、工場の進捗状況を各部署の端末で確認・作業量を把握し、実作業の効率化を向上

### 設計管理

製品、ユニット単位で使用部品や図面を管理することで、受注後の設計業務を低減

### 資材管理

手配書(設計業務にて作成)から、注文書を自動作成することで発注業務を簡略化

部品単価の業者間比較、納期等により発注先を変更

仕掛品、製品、在庫数を把握することで、在庫部品の自動発注(発注点、発注量による)

## ■ システムの特長

### 計画進行管理工数の低減

- 受注した製品情報(納期)をカレンダーに表示することで、作業量を把握し計画立案を容易にする。
- 進捗状況をカレンダーに表示することで、現場での情報収集の工数を低減し容易に現状を確認できる。

### 工場関係者との情報の共有化

- 各部署の端末で生産状況を確認し工場全体で情報を共有することで、作業の効率性を向上させる。

### 購入品、外注品の進捗状況

- 手配書(設計業務で作成)の情報を共有することで、容易に発注する部品を把握し注文書の作成を効率的に行うことができる。
- 注文書の登録状況から発注の有無や納品期日を確認することで、進捗状況を容易に把握することができる。

### 仕掛り途中の製品原価把握

- 受注製品毎の原価を仕掛り途中で把握することで、原価の進捗状況、遅延工程などを確認し作業遅延の問題を早期に発見できる。

## ■ システム全体機能フロー

